

学会記事

2020年度第3回執行理事会議事録

期日:2020年8月1日(土) 13:00~18:00【WEB会議】

出席者:磯崎会長・佐々木副会長・平田副会長・中澤常務・岡田・大藤・亀高・緒方・坂口・小宮・松田・星・辻森・矢部・高嶋・狩野

事務局 澤木

欠席者(委任状提出あり, カッコ内は委任者):ウオリス

*定足数(12, 委任状含む)に対し, 出席者**名, 委任状**名, 合計**名の出席
*前回議事録(202回)の確定。

I 審議事項

1. 地質標準化委員会の新設と委員会メンバー(中澤)

地質基準委員会および地層名委員会を発展的解消し, 標記委員会を新設することを次回理事会で提案する。

2. 理事会規則改正の提案ほか(中澤)

下記について, 次回理事会に改正案を提案する。

・新設の地質標準化委員会に加え, 専門部会における表彰制度に関わる条項を追加する。

3. 理事会規則以外にも, 専門部会から表彰に関わる規則が提案される予定。また, 専門部会・支部例会における表彰結果については, 現在の学会各賞と同様に学会HPで公表することを検討する。

4. 各賞選考委員会規則改正の提案(磯崎会長)

前回執行理事会で説明済みのため, 理事会提案予定の資料の確認を行った。次回理事会で提案する。

5. 地質学雑誌投稿編集出版規則改正の提案(大藤)

・誤字や文献欄の書式, 非会員から原稿受付に関わる箇所等の改正案が提示された。次回理事会で提案する。

・Data sharing policyを地質学雑誌に表示することを検討する(Island ArcはLevel 1を表明)。学会として統一した方針をとることが望ましいため, Island Arcとも協議して検討を進める(継続審議)。

6. 組織再編に伴う委員会体制について(佐々木)

・7/11理事会での委員承認後の組織, 委員名をHPに掲載していただいた。迅速な対応をしてくださった広報委員会に感謝申し上げます。

・業務委員会, 理事会の下の委員会の動向を確実に把握するために, 各委員会の担当執行理事は, 毎回の執行理事会議事次第に各委員会の動向や状況を必ず報告・記載する(ない場合は, その旨を報告・記載する)

ことを提案する。

・「地質学者に答えてもらおう」は受付を一時停止していたが, 小宮理事が窓口を担当し, 質問受付を再開することとした。

6. 地質学雑誌・ニュース誌等のバックナンバー(BN)配布に関する在庫無しオンデマンド印刷化(都度レーザープリンタ印刷)への移行について(緒方)

現状無料であった印刷所倉庫使用料が来年1月以降発生することになり, 今後大量かつ長期間のBNの保管を避けるため, 毎月の印刷部数を抑えることとした。BNが必要な際は印刷所が無料でオンデマンド印刷で対応することとなる。ただしジオルジュについては, グラフィカルな紙面を重要視することから, オンデマンドではなく現状通りの部数を本印刷(オフセット印刷)し, 学会事務局で在庫保管を行う。

7. 学術大会シンポジウムのあり方について(星)

12月の理事会までに来年名古屋大会シンポジウムの方向性を確定するため, 継続審議中。

8. コロナ禍での地質学教育に関するサイバーシンポジウム(仮題)(星)

星理事より標記シンポジウムの提案があり, 開催を承認した。本シンポも学術大会代替企画の一部として実施する。具体的には, 9月下旬に, 大学・高校・博物館等での実施事例紹介を行う。YouTubeでのライブ配信を予定。

9. 学会表彰制度の見直しについて(磯崎会長)

来年総会での制度改正を目指して継続審議中。主な意見は以下の通り: 小澤・棚山賞の年齢制限を学位取得後5年以内として若手向けの賞としたらどうか? / 小藤文次郎賞の内容変更はしない方がよいのではないかと? / 毎年受賞可能者上限数を構成員の一定比率にしたらどうか? / 選ばれなかった場合でも評価が高ければ次回も評価対象としたらどうか? / 選考委員が決まった人数を必ず推薦をアレンジしたらどうか? / 年齢制限ではなく, 学位を取ってからの年数としたらどうか?

10. 理事会審議事項の確認

①理事会規則改正(中澤)

②各賞選考委員会規則改正(磯崎会長)

③地質標準化委員会の新設と委員会メンバー(中澤)

④地質学雑誌投稿編集出版規則改正(大藤)

⑤その他

II 報告事項

1. 全体的報告

・2020年度役員変更に伴う法人登記が7/28付で完了した。

・構造地質部会より部会での研究会開催と部会からの「学生発表賞(仮)」授与の企画提案があった。理事会への開催報告と名称に「学術大会」の使用は避けることをお願いし了承した。「学生発表賞」につい

ては専門部会で賞に関する規則を作成することとし, 合わせて理事会規則の文言も整備する。

・名古屋大会の代替企画について(状況報告)

①表彰・記念講演(星): 9月13日 14:00開始2時間程度, オンラインで実施。受賞者から挨拶ビデオをあつめ, 会長-事務局-行事委員長のzoom会議をYoutubeライブ配信することを検討。

②ショートコース(星): 現行の謝金細則に準じて講師謝金を再検討した。ニュース誌7月号より参加募集の広報を開始した。申込受付期間: 第1回分8/5~9/7(月)/第2回分9月下旬~10/12(月)。

③支部単位の学術発表会(平田): 構造地質部会からの提案を参考事例にして, 専門部会にも部会単位での実施を依頼することとした。経費は本部から補助する。

④JABEEシンポ代替企画としてのオンラインシンポジウム(佐々木): メール審議で検討し, 7/30の委員会(WEB会議)でさらに検討した。2月末~3月上旬の土日での実施を予定しており, zoom講演をYoutubeライブ配信を検討中。

⑤ジュニアセッション(デジタルポスター)(高嶋): 募集要項を確定し, 参加募集を開始した(9/30締切)。また過去の参加校への案内や学会HP, ニュース誌での広報を開始した。JGNに広報協力を依頼したらどうか。zoomによるショートトークなど双方向のやり取りの必要性など意見があった。地学教育委員会で検討して進める。

⑥地質系若者のためのキャリアビジョン誌(坂口): 8社の掲載が確定。さらに掲載企業を増やすべく賛助会員含め関連企業への宣伝チラシの送付を行う。なおショートコースの企業向けポイント(Web地質学講義, CPD8単位)をアピールしたチラシも同封する。

2. 運営財政部会: 総務委員会(緒方・亀高)

<共催・後援依頼, 他団体の募集等>
・地盤技術フォーラム2021(2021/2/17-2/19: 東京ビックサイト)から協賛名義使用申請があり, 承認した。

・Techno-Ocean 2020(地質学会協賛: 10月神戸開催予定)の開催延期の連絡があった。延期後の日程は未定。

・2020年度藤原ナチュラリスト歴史振興財団学術研究助成(動物学)応募(9/1) →【HP, メルマガ掲載】

<会員>

1) 今月の入会者(1名): 正会員(1名): 中川 渉

2) 今月の退会者(2名): 正会員(2名): 藏永 萌・萩原 茂雄

3) 今月の逝去者(1名): 名誉会員(1名) 高柳洋吉(7月21日逝去)

4) 2020年7月末会員数: 賛助: 27, 名誉: 44, 正会員: 3368 [内訳 正会員: 3284, 正(院割) 会員: 82, 正(学部割) 会員: 2] 合計 3439 (昨年比-160)

<会計>

- ・自然史学会連合より2020年度分の分担金(20000円/年)の納入依頼があった。例年通り納入予定。

<その他>

- ・事務局の会員管理システムのクラウド化を検討中。またテレワーク導入に合わせた就業規則の変更を検討している。

3. 広報部会：広報委員会(坂口・小宮)

- ・会員の出演TV番組の紹介依頼があり、会員自身の活動紹介として、学会HPに掲載した。内容に関する責任は会員個人にあることを前提に、今後会員から自身の活動(学術・教育・社会貢献活動)の広報を依頼された際は、同様に対応する。

4. 学術研究部会(辻森・ウォリス・星)

1) 行事委員会(星)

- ・名古屋大会の代替企画について(→全体報告へ)

2) 専門部会連絡委員会(辻森)

特になし

3) 国際交流委員会(ウォリス)

- ・モンゴル地質学会へMOU更新のため書面を7/22に発送した(7/31到着済)。

4) その他

特になし

5. 編集出版部会(大藤・狩野)

1) 地質学雑誌編集委員会(大藤)

(1) 編集状況報告(7月31日現在)

- ・2020年投稿論文：41 [内訳] 論説19(和文18・英文1)、レター6(和文6)、総説1(和文1)、ノート3(和文2、英文1)、報告3(和文3)、口絵1(英文1)、巡検案内書8 査読中：33、受理済み：21(うち特集号9、案内書2)

- ・126巻7月号(名古屋巡検案内書)：案内書4編(約60頁、7/31発送済み)

- ・126巻8月号：特集号「法地質学の進歩」(世話人：杉田律子)6篇(約50頁、入稿準備中)

(2) 投稿編集出版規則の改正案(→審議事項へ)

2) アイランドアーク編集委員会(狩野)

(1) 編集状況

- ・狩野編集委員長より直近1ヶ月の投稿数が伸び悩んでいる状況が報告された。また、現在進行中の特集号への投稿も推進する必要がある。

3) 企画出版委員会(小宮)

特になし

6. 社会貢献部会(松田・矢部・高嶋)

1) 地学教育委員会(高嶋)

- ・ジュニアセッションについて(→全体報告へ)

2) 地質技術者教育委員会(佐々木)

- ・JABEEシンポ代替企画としてのオンラインシンポジウムについて(→全体報告へ)
- ・7/17の地球・資源分野運営委員会(WEB会議)に、本委員会の佐々木副委員長、金川委員、竹内委員が出席。7/30の委員会で報告・検討を行った。

3) 生涯教育委員会(矢部)

- ・7月18日に第1回会議(Web)を実施した。
- ・無期延期としていた今年度の街中ジオ散歩については近々改めて検討する予定。
- ・来年の世界鉱物年にあわせて、地質学会として関連イベント等を検討してはとの意見があった。今後委員会で検討する。

4) その他

特になし

7. ジオパーク支援委員会(平田)

- ・「(仮称)日本ジオパーク地球科学評価機構」(コンソーシアム)の設置事前相談会議(7/20、WEB会議)への出席依頼があり、平田副会長が出席した。相談会議では、コンソーシアムの役割や幅広い業務内容などについて意見が交わされたとのこと。

8. 地学オリンピック支援委員会(高嶋)

- ・2020年国際地学オリンピック(ロシア大会)中止に伴い、代表選抜(第12回日本地学オリンピック本選)も中止となっている。

- ・第12回日本地学オリンピック予選(2019年12月実施)問題の講評を提出した。

9. 地質災害委員会(松田)

- ・防災学術連携体「令和2年7月豪雨の緊急集会」(7/15実況中継)が開催され、地質学会からの話題提供として、「地質学的見地からみた熊本県南部における令和2年7月豪雨災害」(斎藤 真、鳥井真之)の発表があった。

- ・「令和2年7月豪雨」についての会長談話を準備中(8/4HP、メルマガ掲載)。

以上

2020年8月11日

一般社団法人日本地質学会執行理事会
会長(代表理事)磯崎行雄
署名人 執行理事 中澤 努